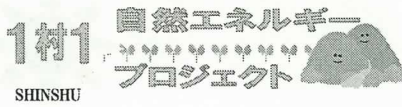


# 1村1自然エネルギー プロジェクト

平成27年3月6日



団体名 安曇野市

氏名 安曇野市長 宮澤 宗弘



安曇野市は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要
取組の名称	安曇野チャレンジ
取組の主体	安曇野市
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	安曇野市
普及する自然 エネルギーの種別等	木質バイオマス(松くい虫被害木等)
取組の目的	松くい虫被害木等を再生可能エネルギーとし、最も身近な地元の森林より調達することにより地域材の自給・循環等有効利用を図る。
地域関係者との協働 の内容	穂高カントリー(株) 薪ボイラー設置施設「長峰山森林体験交流センター 天平の森」指定管理者
プロジェクトの部門	①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④その他 (場作りなど)
取組(事業)の段階	①構想段階 ②実施段階 ③発展段階
取組の概要	<p>安曇野市では、平成12年度に松くい虫被害が初めて確認されてから、被害地域において被害木の伐倒くん蒸及び破碎処理等を実施し防除を推進してきました。しかし、松くい虫の被害は年々増え、平成18年度には前年比5.3倍と激増し、その後も増え続けている状況でした。</p> <p>このような状況のなか、松くい虫被害木を含めた伐採木の有効活用を考える中で、身近に活用できる「薪」については、里</p>

	山の再生を図る上で最も有効な手段と考えられます。そこで、平成 24 年度に松くい虫被害木が薪ボイラーの燃料に適しているのか燃焼試験を実施し、薪ボイラー本体や安定燃焼への悪影響がないことを確認できたため、長峰山森林体験交流センター「天平の森」にモデル施設として新設するに至りました。			
事務局担当者の 連絡先	担当者所属	耕地林務課	氏名	池上 知芳
	TEL	0263-77-3111	email	
備 考				

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所の下線を引いてください。

区分	内容
取組の内容	<p>施設の概要は、「天平の森」の敷地に、木造1階建 延床面積 20.71 m<sup>2</sup>の薪ボイラー室 1棟に薪ボイラー1基の設置となります。建物に使用した木材は県産材のスギで、事業内容等説明看板はすべて松くい虫被害材を有効活用しています。費用は、総事業費 2,377万2,000円、内 1,100万円は国の補助金をあてました。</p> <p>従来のバイオマス活用機器であるペレットボイラー等では、間伐材等を燃料として利用するには、ペレットやチップに加工する必要があり、コストが増大してしまうという課題がありましたが、「天平の森」に新設しました「薪ボイラー」は、「直径20cm、長さ110cm」以下であれば、松くい虫被害木や林地残材をそのまま燃料として利用できます。</p> <p>新設しました薪ボイラーには、2次燃焼室が完備され1次燃焼で生じた燃焼ガスが更に高温燃焼され約1,100度になり、炉内水タンクを約90度にし、熱交換器を介して「天平の森」のお風呂や床暖房への熱源となります。</p> <p>松くい虫被害木を再生可能エネルギーとし、2次燃焼室完備の高性能薪ボイラーにおいてお風呂や床暖房への熱源とするモデル事業は日本で初めての取組となります。</p> <p>① 導入ボイラー ガシファイアー (バイオマスガス化燃焼ボイラー)</p> <p>② 年間薪利用量 170 m<sup>3</sup> 内訳 0.6 m<sup>3</sup>/1日×283日(営業日)</p> <p>③ 薪ボイラー稼働計画 灯油 1日の必要熱量 285,000キロカロリー 薪ボイラー 薪ボイラー出力 50,000キロカロリー/1時間 薪ボイラー稼働時間 1日5.7時間の稼働</p>
取組を行うコミュニティの区域	安曇野市
構成員の役割	—
現に活動しているかの有無	あり(平成24年度燃焼試験から)

活動の成果等の 帰属	安曇野市民
普及推進体制	—
取組の有効性	松くい虫被害木等林地残材の有効活用、二酸化炭素の削減につながっている。
継続性及び発展性	補助事業での材取扱量の目標を5年後まで設定し取り組んでおり継続性がある。 モデル事業として取り組んでおり、現在他の公共施設に導入を検討するなど普及促進効果が既にある。
関係法令の手続き状況	
団体設立年月日	年 月 日
ホームページ	(URL を記載)
備 考	

添付書類 ①組織の規約（市町村の場合は不要）、②プロジェクトの概要書（別紙）、③構成員名簿、④取組の内容の分かる資料（写真等）

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所に下線を引いてください。

